

◇一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6777万6千円を追加し、予算総額が79億2172万円となりました。

歳入の主なものは、地方特例交付金が交付額の確定により366万9千円の増額、繰越金が24年度の留保額全額計上により6366万3千円の増額等となっています。また、交通安全対策事業の決定により、国庫支出金と町債が減額されています。

歳出では、農林水産業費で農業基盤の整備事業費として800万円の増額、幼稚園費で南幼稚園のエアコン購入費など合わせて1267万2千円の増額等です。（全員賛成で可決）

◇国民健康保険特別会計
歳入歳出予算の総額にそれぞれ472万5千円を追加し、予算総額が32億84

76万1千円となりました。補正の主なものとして、

24年度の実績による退職者医療療養給付費および特定健診の返還金503万3千円が計上されています。（全員賛成で可決）

その他の議案

◇須恵町税条例の一部改正
◇須恵町国民健康保険条例の一部改正
例の一部改正

◇須恵町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
◇須恵町住民生活に光をそそぐ基金条例の廃止
（全員賛成で可決）

意見書・陳情

◇「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書
（全員賛成で可決）

◇本会議場での国旗及び地方自治体旗の掲揚に関する陳情書
（全員賛成で採択）

便利になりました



テープカット



通車初め



四大事業完成記念碑

9月21日 開通式

須恵スマートインターチェンジのアクセス道路「県道志免須恵線」が完成し、開通式が行われました。この道路の全面開通により、近隣町へのアクセス向上や周辺道路の交通緩和が図られるのではないかとされています。

また、式典後に赤坂地区四大事業完成記念碑の除幕式もとり行われました。「六坑硬山整理」「赤坂地区埋立」「県立高校開設」そして最後の「県道新設事業」で、四大事業が終了しました。道路完成により、歩行者や自転車交通の安全性が向上するとともに、旅石区を中心とした周辺地域の発展と活性化が期待されます。

中嶋町長3期12年の成果と今後の展望は

コミュニティと子育て四訓で

問

中嶋町長は、平成14年5月に就任され、あと半年ほどで3期12年の任期を迎えられます。

就任当時、独自財源の枯渇問題で全国の自治体運営が危ぶまれていましたが、中嶋町長は行政改革に取り組み、町職員・課の削減で組織の効率化を図られ、また財政についても起債残高22億3千万円

を削減されました。

しかし、「安心して住める町づくり」のためには事業実施など多くの課題がまだ山積みしていると思います。就学前保育教育への取り組み、経済活性化対策の企業誘致、校区コミュニティ政策の将来像について、そして下半期を通じた本年度以降の町政運営についてお尋ねします。

答 中嶋町長

町づくりというのは、自助・共助・公助の関係があり、この共助の精神でコミュニティが育っていかねばならないというのが私の理念です。

行政と住民の橋渡しをしていただくため、また、住

子育て四訓

- 一、乳児はしっかり「肌を離すな」
- 一、幼児は肌を離せ「手を離すな」
- 一、少年は手を離せ「目を離すな」
- 一、青年は目を離せ「心を離すな」

※「子育て四訓」は、山口県下に住む教育者のA氏が、長年の教育経験を踏まえてまとめたものです。

民の方たちの指導的立場で業務をまとめていただくため、今年度から各コミュニティに事務局長を置くようにしました。

就学前教育については、須恵町独自の考えのもとに、幼稚園の子どもであろうと、保育所の子どもであろうと、同じ須恵町の子どもであるという考えを持っています。子育ては発達段階による指

導「子育て四訓」という言葉があります。保育士さんたちが母親代わりになれるよう努力するような幼児園でありたいと思います。

企業誘致については、私有地であったり、農振地区であったりと、なかなか難しいところもありますが、優良企業が進出するような場合には、行政として後押しをしています。

1 一般質問

一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。（質問の全文を記載しています。）



松山 力弥 議員